



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年1月10日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名  
コード番号 3384 URL <https://arkcore.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	5,070	12.0	640	77.9	629	79.9	435	82.6
2024年2月期第3四半期	4,527	5.0	359	△1.0	349	△6.8	238	△47.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期第3四半期	243.50		—					
2024年2月期第3四半期	134.14		126.85					

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	2,923	1,314	45.0
2024年2月期	2,645	871	32.9

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 1,314百万円 2024年2月期 870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—		
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,918	9.4	553	113.7	537	119.0	372	126.3	207.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期3Q	1,970,000株	2024年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年2月期3Q	163,646株	2024年2月期	189,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年2月期3Q	1,787,497株	2024年2月期3Q	1,777,453株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、2024年7月から9月までの四半期別GDP実質成長率は、2四半期連続で増加となりました。国内において企業収益は上場企業を中心に緩やかに改善し、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率ともに横ばい圏内ですが、アメリカの今後の政策動向、中東地域の情勢の変化によって金融市場における金利・外国為替の変動幅が大きくなり、今後のわが国の景気動向に大きく影響するおそれがあります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

国内バイクメーカーは若年層及び中高年層のリターンライダーをターゲットとした新車を投入して市場の活性化を図っており、海外バイクメーカーは、1000ccクラスの大型バイクだけでなく、発展途上国をメインターゲットとしてインドや中国で生産する比較的安価な400cc以下の車種に力を入れることで、より幅広い層への拡販を図っております。これらの車種は日本の中型免許ユーザーや若年層ユーザーのニーズにもマッチしており、国内バイク市場においても拡大傾向にあり、コロナ以降、国内新車販売における需給バランスは供給不足が継続している状況となっております。

そのため、中古バイク販売店における販売価格は高止まりし、また、海外バイヤーの購入意欲が高いことも追い風となり、業者間オークションでの落札価格も高水準を維持しております。

このような状況下において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と当事業における利益を両立する高価格での買取に取り組み、買取成約率の上昇と高粗利単価の獲得につなげております。

また、ユーザーへの直販についても400cc以上の中大型車の展示台数比率をアップし、輸入車についてもこれまでも力を入れてきたハーレーに加えてその他の海外メーカー車両の展示台数を増大させることで、中大型車および輸入車の販売台数、売上、売上総利益を増大させることに成功しております。

その結果、幅広い媒体への出稿、メディアミックスが可能となり、バイクブームの中、バイクを売却するユーザーが減少する中でも、買取台数を維持するための新たなユーザー層を獲得できるという好循環を生んでおります。また、ユーザーからの問合せから買取りまでのオペレーション効率を徹底して見直したことにより、営業スタッフ一人当たりの生産性が向上しております。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,720百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益573百万円（前年同期比86.4%増）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業における店舗数は、エニタイムフィットネス4店、ステップゴルフ2店となっており、前年同期比で増減はありません。

当第3四半期累計期間でのエニタイムフィットネスの月平均会員数は前年同期比7.9%増、ステップゴルフの月平均会員数は前年同期比0.7%増となりました。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高350百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益66百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高5,070百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益640百万円（前年同期比77.9%増）、経常利益629百万円（前年同期比79.9%増）、四半期純利益435百万円（前年同期比82.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は2,923百万円となり、前事業年度末と比較して277百万円増加しました。主な要因としては、現金及び預金が260百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,608百万円となり、前事業年度末と比較して166百万円減少しました。主な要因としては、未払法人税等が124百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が164百万円及び1年内償還予定の社債を含む社債が152百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は1,314百万円となり、前事業年度末と比較して443百万円増加しました。主な要因として、四半期純利益435百万円を計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,941百万円(前年同期は1,740百万円)となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は598百万円(前年同期は得られた資金483百万円)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益632百万円及び売上債権の増加額24百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は25百万円(前年同期は得られた資金12百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出13百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円、差入保証金の差入による支出5百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は314百万円(前年同期は得られた資金147百万円)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出164百万円、社債の償還による支出152百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益は通期業績予想数値を上回っておりますが、バイク事業では冬季の業者間オークションにおける落札価格はその他の季節よりも下方する傾向にあります。

そのため、第4四半期の出品台数は他の四半期よりも少なくなることで、各段階利益は通期業績予想数値に収束していくことを想定しておりますので、通期業績予想の修正は行わないことといたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,752	1,953,922
売掛金	45,146	69,635
商品	664,412	664,923
貯蔵品	2,718	3,099
前払費用	22,678	22,421
その他	16,371	14,640
流動資産合計	2,445,080	2,728,642
固定資産		
有形固定資産	105,935	98,046
無形固定資産	7,629	6,457
投資その他の資産	87,332	90,051
固定資産合計	200,898	194,556
資産合計	2,645,979	2,923,198
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,116	27,820
1年内償還予定の社債	202,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	231,371	229,054
未払法人税等	41,669	166,657
賞与引当金	34,463	22,669
その他	213,820	245,139
流動負債合計	743,440	861,340
固定負債		
社債	340,000	220,000
長期借入金	689,543	526,920
その他	1,757	344
固定負債合計	1,031,300	747,264
負債合計	1,774,740	1,608,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	267,069	264,984
利益剰余金	442,677	877,928
自己株式	△72,333	△61,144
株主資本合計	870,238	1,314,594
新株予約権	1,000	—
純資産合計	871,238	1,314,594
負債純資産合計	2,645,979	2,923,198

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	4,527,094	5,070,902
売上原価	2,813,816	2,940,313
売上総利益	1,713,278	2,130,588
販売費及び一般管理費	1,353,585	1,490,579
営業利益	359,693	640,009
営業外収益		
受取手数料	3,864	3,827
その他	274	768
営業外収益合計	4,139	4,595
営業外費用		
支払利息	7,846	9,811
社債利息	3,899	2,245
社債発行費	1,909	—
株式報酬費用消滅損	—	1,624
その他	241	1,498
営業外費用合計	13,897	15,180
経常利益	349,935	629,424
特別利益		
固定資産売却益	—	1,787
新株予約権戻入益	—	880
特別利益合計	—	2,667
税引前四半期純利益	349,935	632,091
法人税、住民税及び事業税	100,245	198,366
法人税等調整額	11,268	△1,525
法人税等合計	111,514	196,841
四半期純利益	238,420	435,250

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	349,935	632,091
減価償却費	26,883	26,058
株式報酬費用	7,189	92
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,271	△11,794
受取利息及び受取配当金	△247	△147
支払利息	7,846	9,811
社債利息	3,899	2,245
社債発行費	1,909	—
株式報酬費用消滅損	—	1,624
新株予約権戻入益	—	△880
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,787
売上債権の増減額 (△は増加)	△686	△24,488
棚卸資産の増減額 (△は増加)	188,200	△891
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,695	7,704
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9,835	1,556
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	61,388	40,285
その他	△7,176	5,872
小計	617,011	687,354
利息及び配当金の受取額	218	154
利息の支払額	△12,342	△11,632
法人税等の支払額	△121,704	△77,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,181	598,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,350	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△10,561	△13,888
無形固定資産の取得による支出	—	△5,386
差入保証金の差入による支出	△30	△5,257
差入保証金の回収による収入	24,114	256
出資金の払込による支出	△209	—
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	1,132	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,095	△25,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△112,002	△164,940
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,995	△5,129
社債の発行による収入	98,090	—
社債の償還による支出	△132,000	△152,000
割賦債務の返済による支出	△1,249	△1,249
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	9,000
自己株式の取得による支出	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,843	△314,333
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	643,120	258,820
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,835	1,682,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,740,956	1,941,171

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス 事業	
売上高	4,194,516	332,578	4,527,094
セグメント利益	307,666	52,027	359,693

(注) 「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス 事業	
売上高	4,720,369	350,532	5,070,902
セグメント利益	573,577	66,432	640,009

(注) 「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。